

令和元年度 第1回石川県国民健康保険運営協議会 議事要旨

- 日時： 令和元年11月27日(水) 18時00分～
- 場所： 石川県庁行政庁舎11階1110会議室
- 出席委員： 10名
 - 【被保険者代表】
池島委員、亀田委員
 - 【保険医又は保険薬剤師代表】
千田委員、橋本委員、牧本委員
 - 【公益代表】
石田委員、中村委員、森河委員
 - 【被用者保険等保険者代表】
田中委員、梨野委員
- 事務局： 北野健康福祉部長、大居医療対策課長
他11名

1. あいさつ (北野健康福祉部長)

2. 議事

① 説明事項

<事務局>

- ・ 資料1により「国民健康保険の現状について」を説明
- ・ 資料2により「平成30年度石川県国民健康保険特別会計決算（見込み）について」を説明
- ・ 資料3により「令和元年度石川県国民健康保険特別会計の概要及び市町における国民健康保険料率について」を説明
- ・ 資料4により「令和元年度石川県国保ヘルスアップ支援事業について」を説明

- ・ 資料5により「令和2年度の国民健康保険事業費納付金算定について」を説明

② 質疑

・赤字解消計画について

<委員>

一般会計からの法定外繰入を実施している2市町について、赤字解消計画を立てることになっていたかと思いますが、何年度に解消する予定なのかを教えてください。

<事務局>

ご指摘のとおり、赤字解消計画を策定することになっており、2市町とも策定しております。計画では、令和5年度までの段階的な解消に努めるということになっております。

<委員>

前倒しになる可能性もあるのでしょうか。

<事務局>

そのように思います。額は減少しているので。

・各市町の保険料率について

<委員>

各市町の保険料率が、据え置きや引き下げているところが多くあるということですが、今後大きく引き上げられないのか懸念しています。財政支援を活用すれば引き上げにはならないということで、据え置きや引き下げになっているのでしょうか。

<事務局>

令和元年度の保険料率については、納付金が全19市町で引き上げとなっている中、多くの市町で据え置きまたは引き下げています。市町の中には基金や前年度からの繰越金を活用し、保険料の上昇の抑制を図っているところもあります。

<委員>

基金が無くなったら、大きく引き上げるところも出てくるのでしょうか。

<事務局>

基金が無くなった場合、段階的に各市町で引き上げなりを考えていくことと思っております。

・一人当たり所得の状況について

<委員>

資料1「2. 各保険者の比較」を見ると、市町村国保の加入者一人当たり平均所得が86万円となっています。「8. 一人当たり所得の状況（市町別）」では野々市市は高いですが、他は全国平均に比べ低いと思うのですが。

<事務局>

資料1「8. 一人当たり所得の状況（県平均）」では、平成29年度において全国が69万3千円、石川県が64万1千円ということで比較しております。データの取り方が少し違うのではないかと思います。

・一人当たり医療費の状況について

<委員>

資料1「7. 一人当たり医療費の状況（市町別）」について、宝達志水町がいつも高いのですが、平均値と中央値で違うのではないのでしょうか。医療費が高い人が数人いて、それに引っ張られているのでは。中央値だとそのようなことはないと思ったのですが。

<事務局>

データを持ち合わせておりませんので、データがありましたら次回報告させていただきます。

3. 閉会